

望ましい行動を引き出すアプローチ ～PBIS から学ぶ～



こどもたちが読むことや計算を習うように、

肯定的で適切な行動も大人から「教わる」が必要です。

PBIS (ポジティブな行動介入と支援) のアプローチから、

こどもへの「見取り、認め、伝える」かわりを一緒に考えてみませんか？



<日時> 令和8年7月23日 (木)
13:20～15:40 (受付開始 13:00～)

<場所> 下北文化会館 2階 大研修室

<講師> 弘前医療福祉大学 保健学部看護学科
教授 小玉 有子 先生

主な専門分野は臨床心理学、発達心理学、カウンセリング論、発達障害、健康相談など多数。養護教諭・教育相談主任・特別支援コーディネーターの経験と臨床心理学を踏まえながら、実際の学校でスクールカウンセラーとして、また高等学校や教育委員会等のスーパーバイザーとしても活動している。現在は、学校不適合(非社会・反社会)への心理臨床的アプローチ、発達障害あるいはグレーゾーンと言われている児童生徒の学校適応や就労支援に取り組んでいる。

<申し込み方法> 下記のいずれかの方法でお申し込みください

① Google フォームによる申し込み (下記 URL、QR コード参照)

URL : <https://forms.gle/eS4hR8TAd77Lo9IE9>

② FAX による申し込み (裏面の申し込み用紙をご利用ください)

締め切り : 7月8日 (水)



<お問い合わせ>

下北地区こども発達相談連絡協議会事務局 (青森県立むつ養護学校)

電話:0175-26-2210 FAX:0175-26-2286

メール:sodan-mut.sh@asn.ed.jp

主催 下北地区こども発達相談連絡協議会